

会報17年分 歩みを冊子に

岡崎の「一筆啓上・作左の会」

17年間発行した会報「作左通信」をまとめた兵藤会長と
山田副会長＝岡崎市赤浜町で



知られる地元出身の戦国武将本多作左衛門の紹介、学区の変遷を掲載した。

これまで会が開いた行事に関わった人たちの感想や思い出を書いたコラムも載せ、「冊子をめくれば、活動した会員の思いを知ることができる」と山田靖副会長(七三)。兵藤紀之会長(七五)は「本多作左衛門を通して地元を盛り上げることを目標に活動してきた。これまでの歩みを知ってほしい」と話している。

希望者には五百円で

販売する。(兵藤さん

＝0564(52)28

91

(朝国聡吾)

岡崎市の六ツ美西部学区の住民らでつくる「一筆啓上・作左の会」が発行する会報「作左通信」をまとめた冊子ができた。

A4判百二十一ページ、会の役員十人が編

集した。二〇〇〇年に発行した第一号から二月の第八十二号までの十七年分を収めた。他に、日本一短い手紙として知られる「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」で